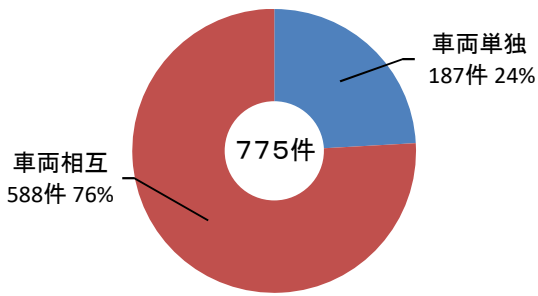


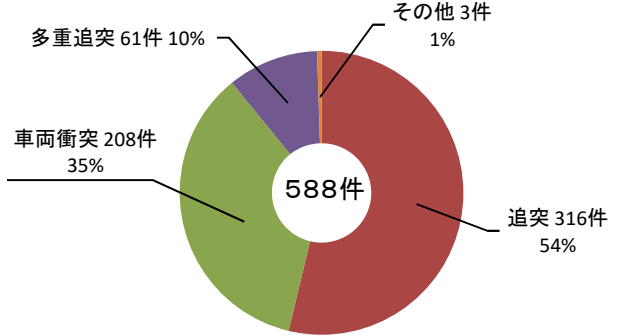
名古屋高速道路の交通事故の特徴(令和5年度)

形態別事故件数



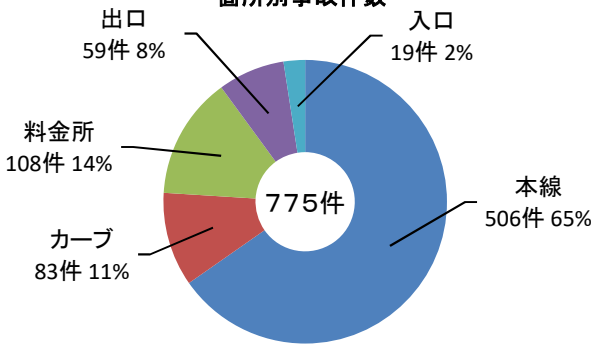
形態別事故件数は、車両相互事故が76%と多くを占めています。

車両相互事故件数(事故内容別)



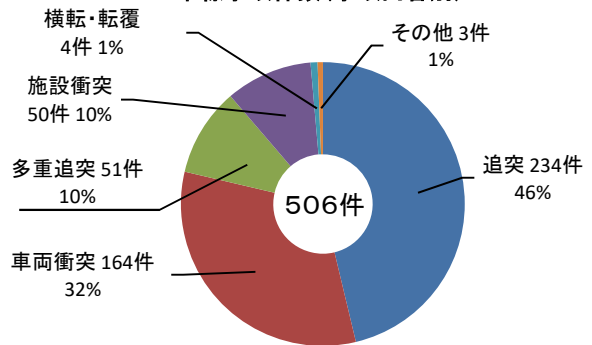
車両相互事故は、追突・多重追突事故が64%と多くを占めています。

箇所別事故件数



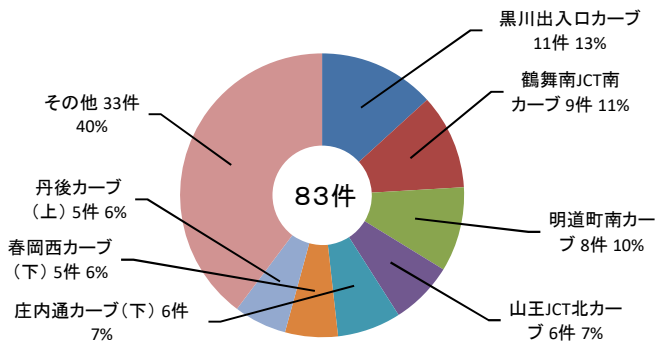
箇所別事故件数では、本線部での事故の割合が65%と多くを占めています。

本線事故件数(事故内容別)



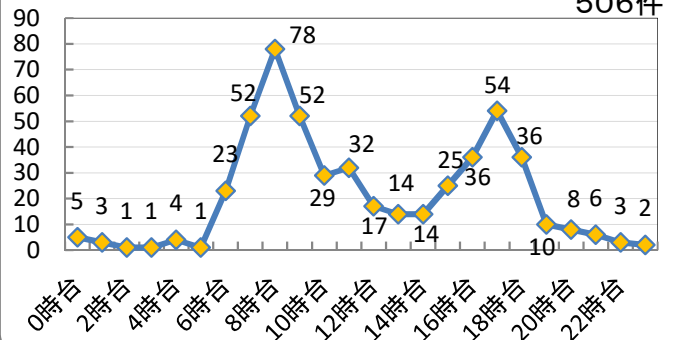
本線では、追突事故の発生割合が高く、全体の約半数を占めています。

カーブ区間事故件数(箇所別)



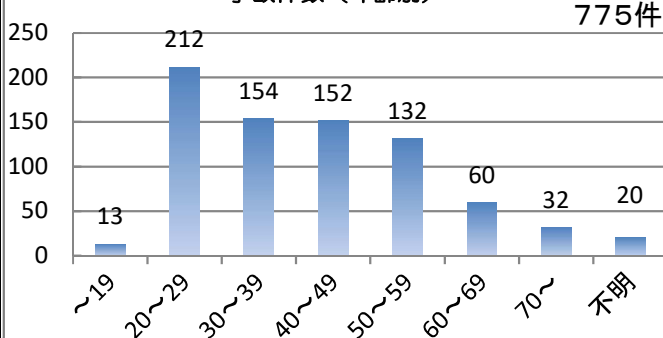
黒川ランプカーブや都心環状線のカーブ区間での事故が多くを占めています。

本線事故件数(時間帯別)



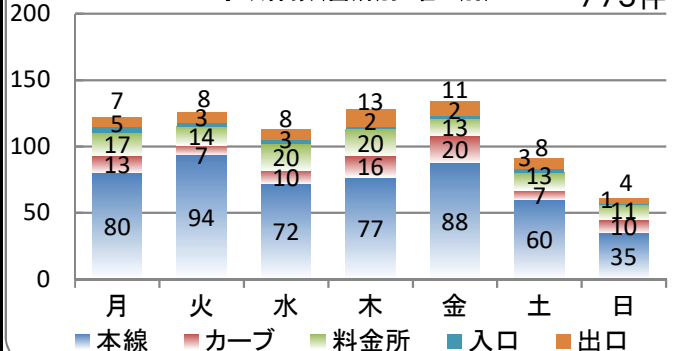
本線では、朝夕の交通量の多い時間帯に、多く発生しています。

事故件数(年齢別)



お客様のうち、20歳代の事故が多い傾向にあります。

事故件数(箇所別・曜日別)



事故は交通量が少ない土日に減少する傾向があります。